

令和7年度

湖南省行政改革懇談会 議事録

第4回会議

(令和8年1月 20 日開催)

湖南省総務部財政課

## 出席者

懇談会委員	会長	新川 達郎	
	副会長	田中 正志	
	委員	伊藤 真昭	欠席
	委員	奥村 伸一	
	委員	加納 大樹	
	委員	小嶋 美朗	欠席
	委員	小谷 真理	Web 参加
	委員	小林 義幸	
	委員	高橋 久夫	
	委員	谷口 繁弥	
	委員	黄瀬 瞬	
	委員	永田 清	
	委員	原田 徹	Web 参加
	委員	壬生 裕子	Web 参加
事務局	総務部長	坂田 晃浩	
	総務部次長	園田 孝志	
	総務部財政課 課長	北村 洋志	
	総務部財政課 課長補佐	西岡 隆宏	
	総務部財政課 主査	石本 純一	

傍聴者なし

## 議事録

開会 午前 10 時

会長	あいさつ
事務局	会議成立の報告【出席委員数/委員数:12/14】
議題 第五次湖南市行政改革大綱について 1)パブリックコメントの結果について 事務局より説明	
委員	6ページ まとめの部分について人件費は「人事院勧告により」とあります、人事院勧告は国家公務員の給料を是正勧告するものなので「人事院勧告に準じて」とした方が適正ではないでしょうか。 24ページ 行政改革の推進体制フロー図について「市民・地域・民間企業」としていますが「民間事業者」とした方が良いのではないか。以下の具体的な団体との整合性をとっていただければと思います。今の表現では地域に偏っているような形となっていますのでこちらも変更が必要と考えます。
事務局	それぞれについて修正します。
副会長	19ページ 具体的な取組の部分で「連携事業の促進を図り」が2重となっているので修正をお願いします。
事務局	修正します。
会長	パブリックコメントと庁内修正に対する審議については以上としまして大綱案についてご審議をいただければと思います。
委員	10ページの庁内意見照会からの変更ということで「小規模多機能自治」という言葉が初めて出てきています。小規模多機能自治については広報にもよく内容が掲載されています。地域包括支援センター、重層的支援体制

などについて関係していると思いますが、市の方でも明確化されていないと思います。しっかり小規模多機能自治についてまとめて具体性があったうえで書かれた方が良いと思います。

長期財政計画を確認しまして、投資的事業について庁舎整備事業が 125 億円ありますが、その他の事業について教えてほしいです。

また、令和6年度において経常収支比率が 88%（実績値）となっていましてここから計画期間の目標値が 90.7%とされており、2.7%悪化しています。理由について教えてほしいです。

事務局

投資的事業については市民学習交流センター改修事業、甲西文化ホール大規模改修事業、小中学校の空調整備などの事業、その他計画に記載はありませんが小中学校の改修、各公共施設の長寿命化等を実施する予定です。

経常収支比率について改善を図っては来ているが難しい状況です。県内で順位はいい方です。90.7%におさえたいということで目標を掲げているところです。

委員

場合によっては更に悪くなる可能性もあるのでしょうか。

事務局

数字的にはどうしてもそうなり得ると思いますが、ここまでに抑えたいという数値で 90.7%という数字を示しています。取組を行って抑えていこうと思っています。

会長

人件費などでどうしても出していく費用はあります。これまでのような水準で収入と支出のバランスを維持するのはできなさそうでどうしても悪化はしますが、それ以上悪化しないようにということで今回の数値を示していると思われます。

委員

令和8年、9年、10 年と起債が増大しています。125 億が財政を圧迫し、市民への負担が出てくるということが書かれています。庁舎整備費用を減額することで、市債の残高等の数値が良くなることも考えられると思います。庁舎整備費用を 100 億円程度の規模とすればすべての数値に好影響として出てくるのではないかでしょうか。議論の観点ではないかもしれません、私自身は心配しています。個人的な考え方を述べさせていただきましたが、お答えいただけると嬉しいです。

事務局	少しでも事業費を減らす努力もしています。ご意見として伺いましたのでしっかり担当部署に伝え、進めていきたいと考えています。
会長	政策的なところはここで議論は難しいと思いますが行財政改革の観点からより効率的・合理的な事業の進展が求められていますのでそれに基づいて取組を行っていただきたいと考えます。
副会長	21 ページ 課題の部分で2行目 「媒体による」を「各媒体による」とした方がわかりやすいと思いますので修正を検討いただければと思います。
事務局	事務局 修正します  ※その他意見なし
2)第五次湖南市行政改革大綱策定に向けた答申(案)について 事務局より説明	
委員	答申内にある人材の表現について「人財」への修正は不要でしょうか。
事務局	答申内にある人材については答申にあたりましては行政改革懇談会から答申する際の文章となりますので「人材」として記載しております。なお政策の名称は大綱と表現を揃えて「人財」としています。  ※その他意見なし
会長	大綱と答申の文言の修正等につきましては、恐縮ですが会長と事務局でご一任いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。答申につきましては懇談会からということで会長の私から市長さんにお渡しをさせていただく予定をしておりますのでよろしくお願ひいたします。
3)第五次湖南市行政改革大綱実施計画項目について 事務局より説明	
委員	小規模多機能自治について 10 ページに記載されていますが、実施計画

内に何も入っていないというのはどうなのでしょうか。民間等との連携促進の施策からいけば入れる必要があるのではないかと考えます。

会長 小規模多機能自治構想が具体的にどのように進捗しているかよくわかっていない部分もありますが、行政改革で取り上げる部分があれば計画にも反映すべきだと思います。担当課と調整のうえお願いしたいと思います。基本構想を進める意思がなければ別の話になると思いますが。

委員 取組ということで目標を定めていくということですが、毎年進捗を管理していく、今までの評価委員会の内容に基づいて PDCA サイクルでまわしていくということは民間でいうと給料に反映するということになります。例えば部署によって達成していないのであれば給料を下げるといったことです。市役所は無理かもしれません、推進をするために徹底した取組をしていくべきではと考えます。民間と違って評価はしづらいかもしませんが力を入れるべきところだと考えます。

事務局 取組にかかる進捗については内部ではなく、外部委員さんから評価をいただいている。評価については、重要な結果でありますのでその評価結果を各担当課にフィードバックを行い、取組を推進しているところです。

※その他意見なし

#### 4) その他

今後のスケジュールについて説明

委員 今後は小規模の部分が実行できるかが重要な部分だと考えています。

委員 計画策定で終わりではなく、計画を実行にしっかり移し、PDCA をまわしていくこと、また官民連携をしっかりしていくことをお願いしたいと思います。

委員 私は 40 年、一度も住民票を移さず湖南市に住み続けています。住む市町や地域を選べる時代ですが、湖南市が住み続けられるまちになってほしいです。こどもたちにとってもそういう地域になってほしいです。

委員 合併後いまだ1つになれない部分もありますが、行政改革を起爆剤

として1ステップ進めていただければと思います。

委員 積極的な意見が出ていたと思います。計画ができて評価委員会にかけるということですけれども、どうした指摘があってそこからどういう成果が出たのか等そういう情報がオープンになるといいのではと思います。

委員 計画を作るときはどうしても一生懸命やります。できた後のことを考え、実行をお願いしたいと思います。民間事業者への指定管理や委託について自分のところから離れてしまうというか放してしまう、そうではなく、やっぱり市の事業としてやっていくことを念頭に事業を進めていただければと思います。

委員 パブリックコメントの方も言っていたように内容が不十分であります、具体性に欠けるといった意見がありました。精神論ではなく、数値を出して目標に向けていくというのが正しい姿かと思います。私は行政改革懇談会として期待をして臨んだのですが、人件費は人事、庁舎のことは庁舎の担当で話されているとの答えだったので行政改革の位置付けが高く見られてないようを感じました。深堀がないということを感じていました。身を切る改革を1歩でも進めていく必要があると思っております。深堀をしていく行政改革懇談会であってほしいと思っております。

委員 皆さんの貴重な意見が盛り込まれた大綱になったと思います。ご指摘もある通り具体化していくことが大事かなと思います。実施計画が具体的な内容をつめた形で作っていくことがまずは大事かと思います。

委員 パブリックコメントの対応が湖南市におかれまして非常に丁寧にされていらっしゃることに感銘を受けました。議論を尽くしてしっかりしたもののが出来上がったかと思います。実現に向けて大いに期待をしたいと思っております。

委員 大綱がまとめたことで形としてできるわけですけれどもあらゆる計画がそうであるように完璧な物はないと考えています。このあと実際に運用していく中で、実施計画含めですけど、また現場で修正していくこともありますし、外部評価委員としてそのプロセスを見守り、今回大綱で活かそうしたことが、より意図通り活かしていくようにフォローしていきたいと考えております。

副会長

毎回熱心なご議論をいただきましてありがとうございました。大綱案ができたということで嬉しく思っております。大綱を具体的にしていく実施計画を策定いただくことになりますけども今日出していただいたものは非常に粗いものだったと思っておりますので、より大綱の目的に合うような取組を具体的に挙げて作っていただきたいです。引き続きよろしくお願ひいたします。

会長

最後に私からも一言お礼を申し上げます。懇談会委員の皆さまのお力で大綱をとりまとめることができました。大綱という性質上、大きな方向性、5年間の方向性というのは明らかにしていく、その中で何をどこまで具体的に書いていくのかは難しいところですが、この方向に沿って毎年毎年の改革を進めていただくということになります。

懇談会はこれで役割を終えますけれども、委員の皆様方には、ぜひこの後も私たちのこの大綱方針、ここまで議論したことが、どういうふうに湖南市政の中で具体化をされ、毎年の改革に繋がっていっているのか関心を持って見ていただき、またその都度ご意見をいただければと思っております。大綱を作りっぱなしではやはり意味がありません。私達自身も今後この大綱が本当に意味のあるものとして湖南市を支えていく、そういう役割を果たしていけるようにしっかりと見守り、育てていければと、そんなふうに思っておりますのでよろしくお願ひいたします。それでは皆様方へは感謝、それから事務局への労いも含めまして、本当にお世話になりましたことを改めてお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

総務部長

あいさつ

閉会 午前 11 時 10 分